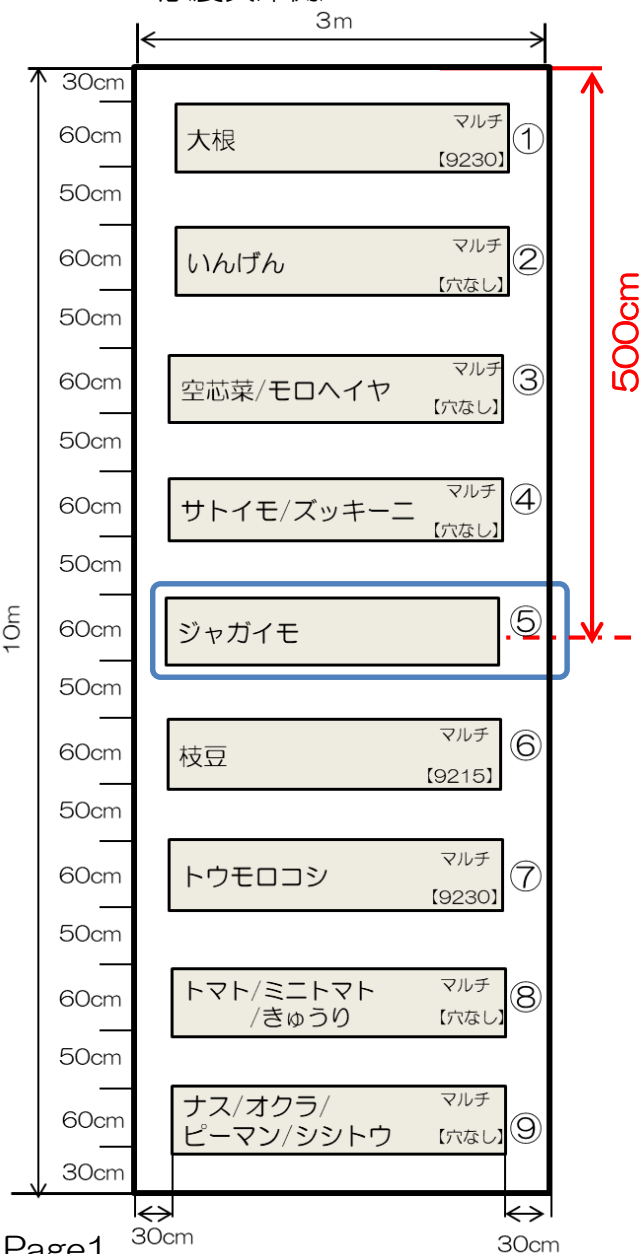


→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



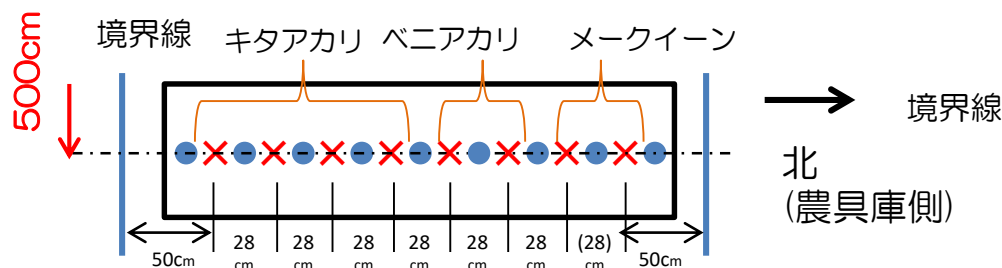
□畑づくり(区画全体)

- 施肥：堆肥 2袋(15kg)
※今年度も実施済み(耕耘機にて混ぜ込み済)です。

□ジャガイモの植付け(⑤列目)

キタアカリ：2個(4か所)、ベニアカリ：1個(2か所)
メークイン1個(2か所)

- 種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
- **×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- 施肥(肥料：**野菜名人**) 1杯 → ●部に均等に撒く

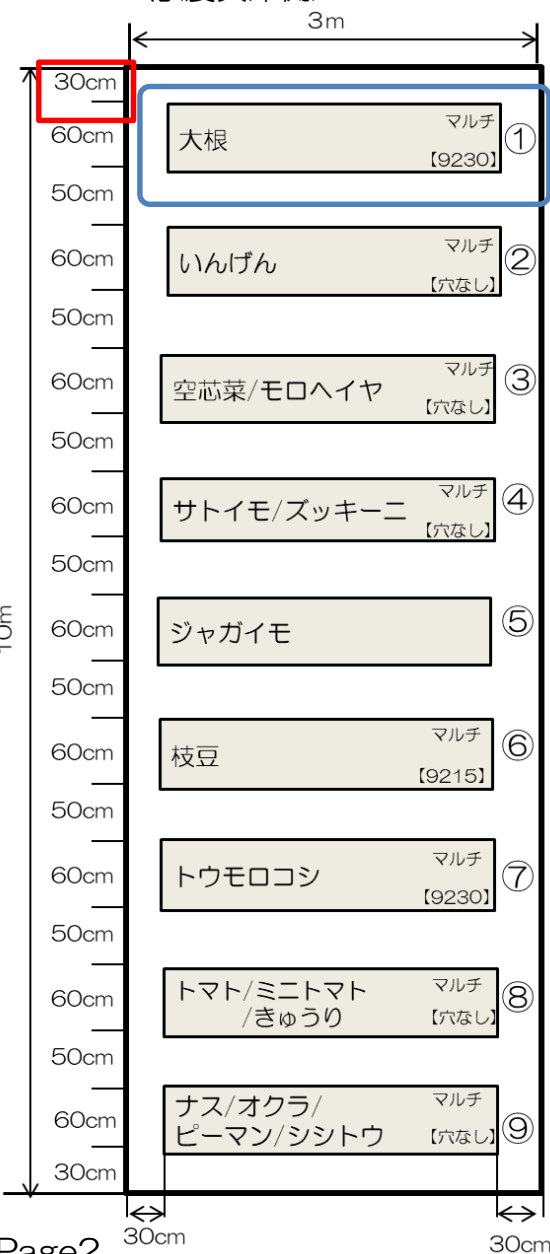


※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

- 注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**
- 注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、
区画の境界線(トラロープ)を基準としてください。
区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

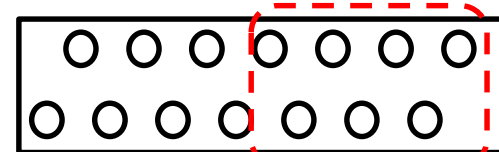
→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

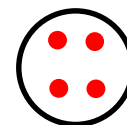


□大根の種まき(①列目)

- 施肥：化成8号、石灰
アツミン 各1杯(約200g)
- マルチ9230をひく
- 種まき(半分/北側) 1穴4粒
※人参種まきを早めに行うため、
日程を早めにしてます
肥料をよく混ぜ込んでください



マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、
ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です

→ 北

マルチ引き手順(参考) → 1年目の方は個別指導します

- ①採寸し、畝両端に間縄を引く
- ②間縄間に施肥した後、レーキで肥料を畝全体に混ぜる
- ③畝全周を掘る
慣れないうちは角スコップを使うと楽です。
注1.土は畝に垂直に掘り、土は畝外側によける
注2.4隅もしっかり掘る
- ④畝を平らにする(凸凹にすると水が溜まります)
- ⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら
しわが出ないようにひく。
※工程⑤の後の微調整

穴を畝の端に合わせると
数が多く取れます

30cm分が通路となり
ます

間縄
作業後は片付けます

最後にマルチの縁
を押し込むと
きれいに張れます



「各種肥料について」

本資料はHPのみ掲載です

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- ・堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- ・石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除 ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

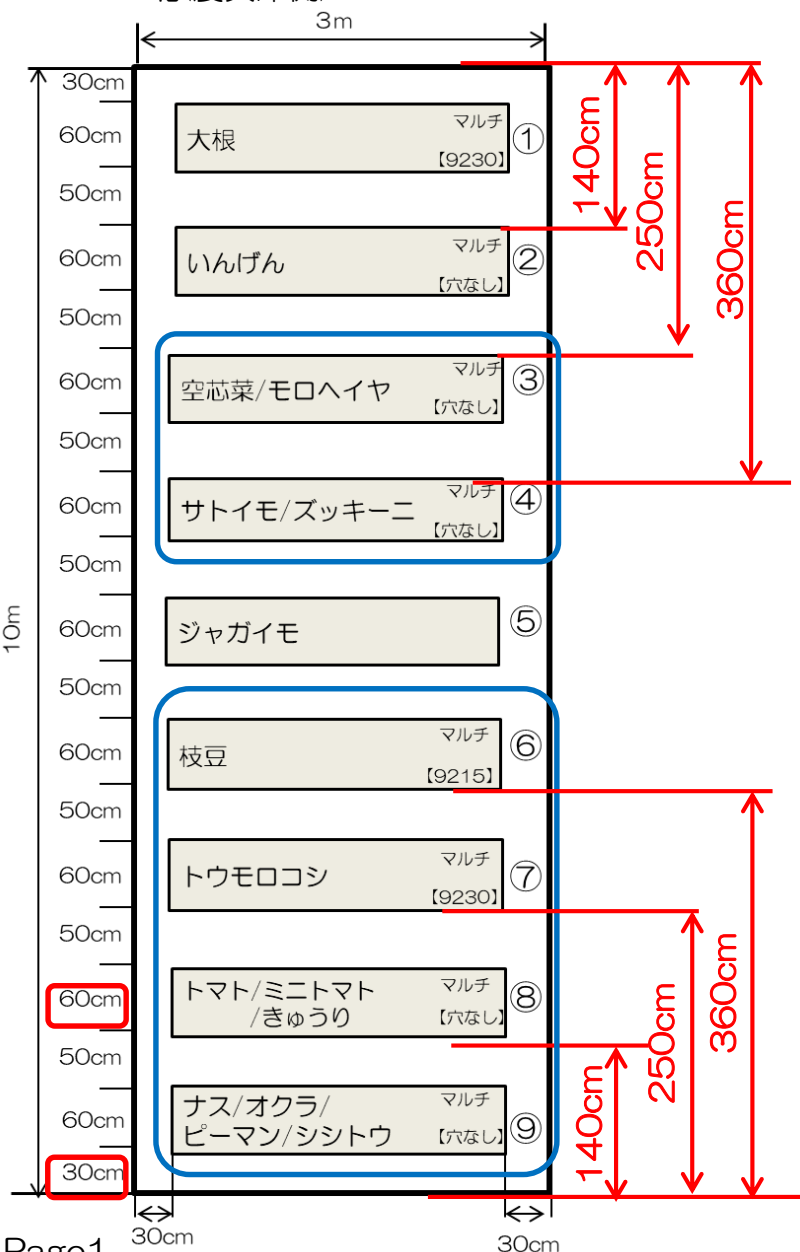
ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

体験農園(小牧園)講習会 2019年度 春のマルチ引き 2019/3/17～

→ 北(農具庫側)



第2回講習会以降のマルチひきです

肥料は全て同一です

優先順位が高い順番に記載しています

□ トウモロコシのマルチ引き(⑦列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・ マルチ9230をひく

□ 枝豆のマルチ引き(⑥列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・ マルチ9215をひく

□ いんげんのマルチ引き(②列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・ 穴なしマルチをひく

□ トマト/きゅうり(⑧列目)

- ・ 施肥：野菜名人、アヅミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・ 穴なしマルチをひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

□ ナス/ししとう/ピーマンの準備(⑨列目)

- ・ 施肥：野菜名人、アヅミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・ 穴なしマルチをひく

□ 空芯菜/モロヘイヤのマルチ引き(③列目)

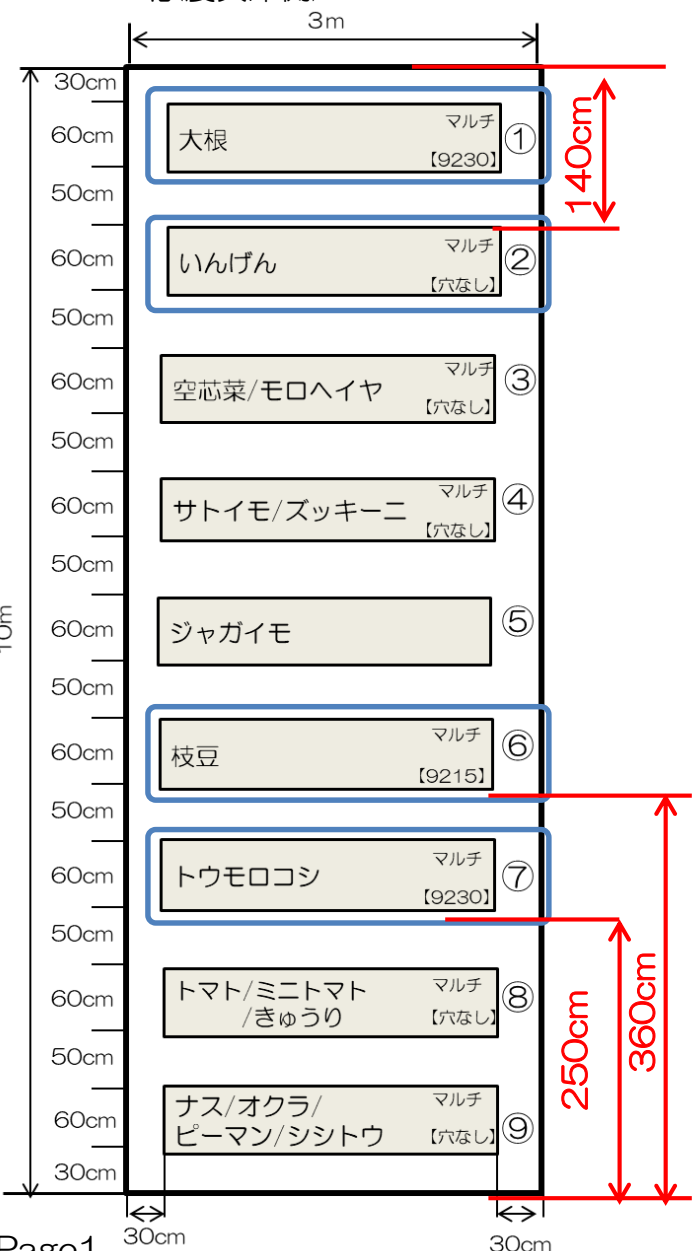
- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・ 穴なしマルチをひく

□ サトイモのマルチ引き(④列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・ 穴なしマルチをひく

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

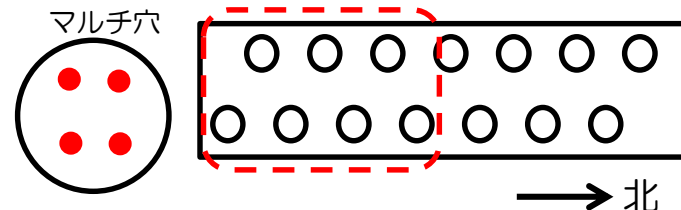


□大根の種まき(①列目)

・種まき(半分/南側)

※1穴4粒

種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です

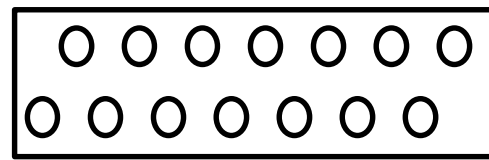


□トウモロコシのマルチ引き(⑦列目)

・施肥：野菜名人、石灰

アヅミン 各1杯(約200g)

・マルチ9230をひく



注：穴の数は参考です。→ 北

以下 ②、⑥列は、ゆっくり作業したい方、体力に自信がない方、当日お時間がない方は講習時間外に進めていただいて構いません。ハウス内に肥料/資材は常備しているので、作業時の事前連絡等は不要です。第4回講習会(4/13,14)までに完了してください。

□いんげんのマルチ引き(②列目)

・施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)

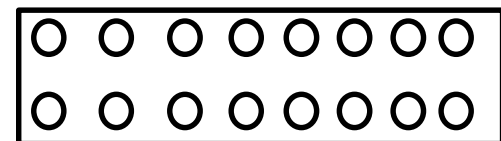
・穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

□枝豆のマルチ引き(⑥列目)

・施肥：野菜名人、石灰

アヅミン 各1杯(約200g)

・マルチ9215をひく

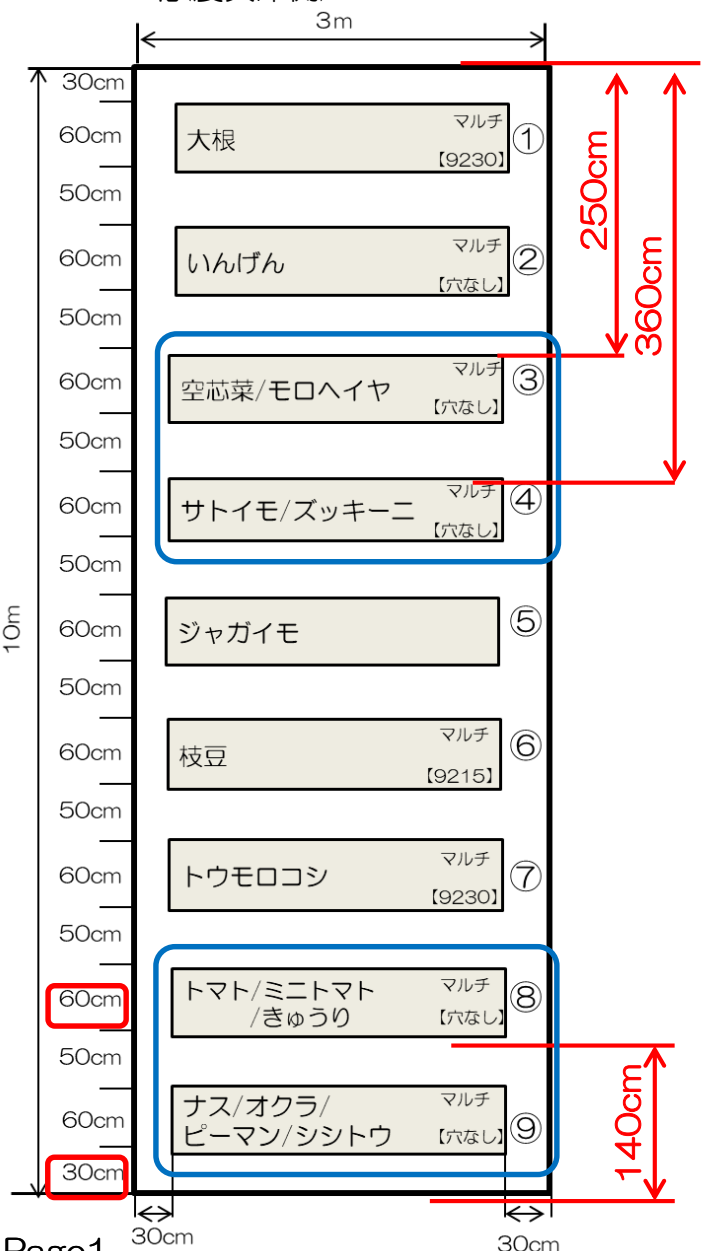


注：穴数は参考です。→ 北

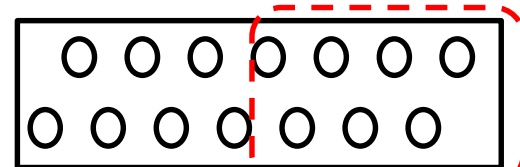
体験農園(小牧園)講習会 2019年度 3回目 2019/4/6(土)、7(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



- トウモロコシの種まき(⑤列目)
・種まき 1 穴2粒 (半分/北側)



注：穴数は参考です。 → 北

- トマト/きゅうりの準備(⑥列目)

- ・施肥：野菜名人、アズミン 石灰 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチ(黒マルチ)をひく
※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します
- ・支柱立て→できるだけ今回の講習会中に実施ください

以下 ③、⑨は、ゆっくり作業したい方、体力に自信がない方、当日お時間がない方は進めていただいて構いません。ハウス内に肥料/資材は常備しているので、作業時の事前連絡等は不要です。第5回講習会(4/27,28)までに完了してください。

- 空芯菜/モロヘイヤのマルチ引き(③列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

- ナス/オクラ/ししとう/ピーマンの準備(⑨列目)

- ・施肥：野菜名人、アズミン 石灰 各1杯(約200g)
- ・穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

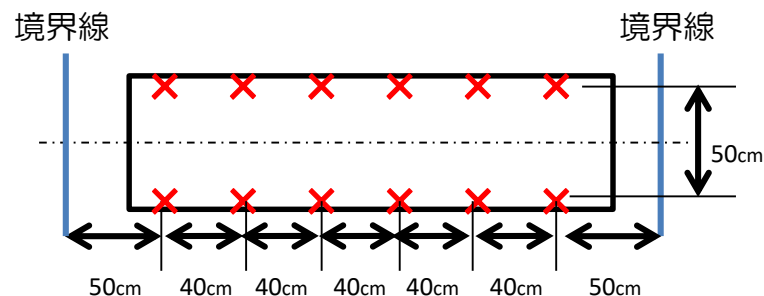
体験農園(小牧園)講習会 2019年度 トマト/きゅうり支柱立て

【トマト/きゅうりの支柱立て作業】

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。

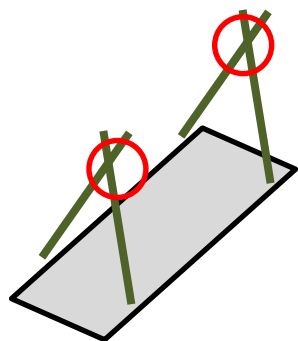
①支柱(13本)と紐(ビニール紐)を用意する。

②支柱を立てる箇所に印をつける
※マルチ引きに使用した間縄を使うと
きれいに立てられます。

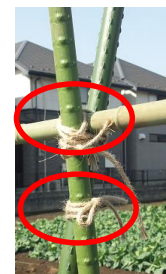
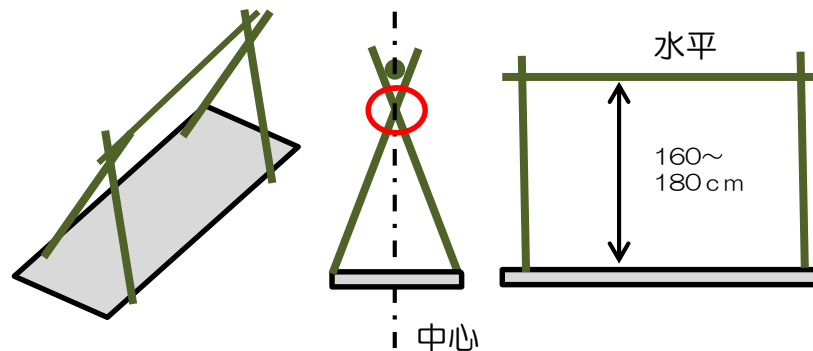


※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

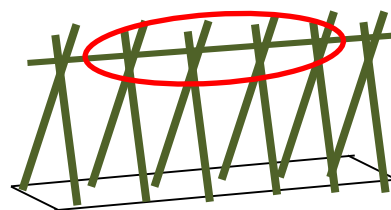
③両端の支柱を下図のように交差させて立て、紐で仮止めする。



④上方に支柱をのせ、マルチ中心位置、水平位置になるよう調整し、仮止めした紐を本締めする。
高さは各自結びやすい高さで結構です。



⑤残りの支柱を上方の支柱に合わせて、下図のように立てる。→**支柱は絶対曲げないでください**
立て終わったのち、3本の支柱をまとめて紐でしばる。

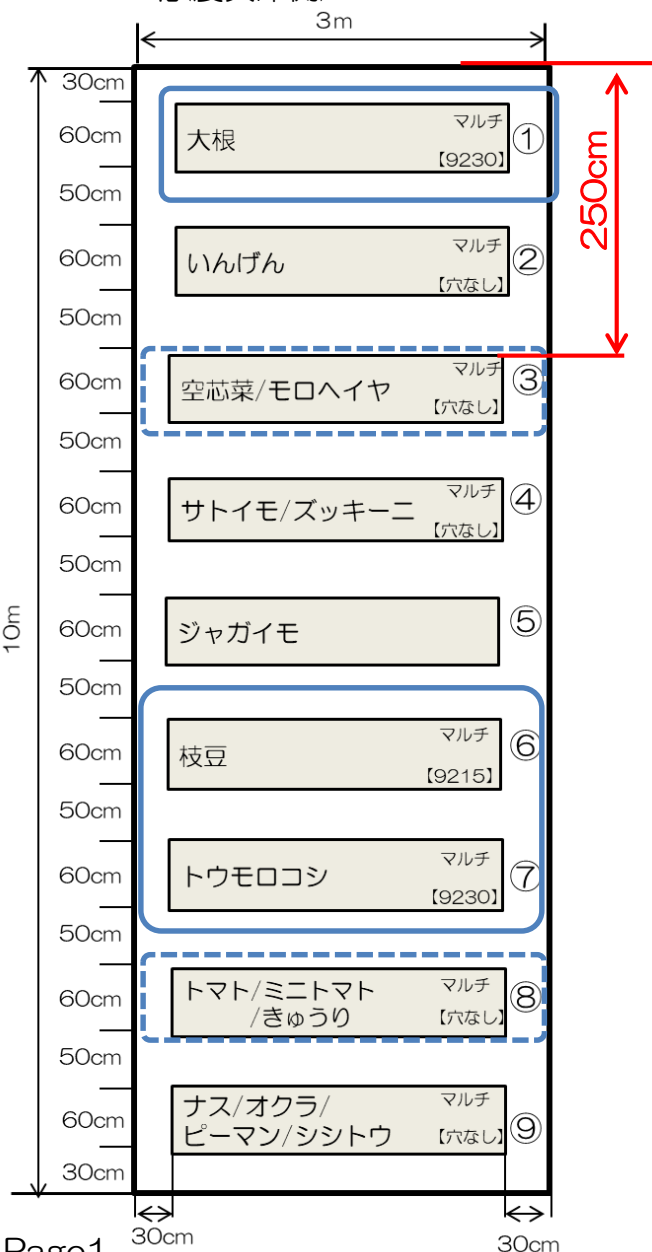


⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。

※写真は麻紐ですが、ビニール紐を使ってください。

→ 北(農具庫側)

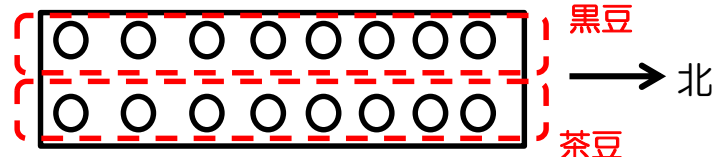
注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



□大根の間引き 4本→2本 北側 様子を見て実施

□枝豆の種まき(⑥列目)

・種まき1穴2粒
(深さ1.5cm程度)

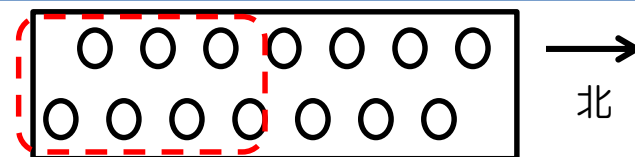


種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます

□トウモロコシの種まき

(⑦列目)

・種まき1穴2粒



以下の作業がまだの方、今回の講習会で終わらせてください

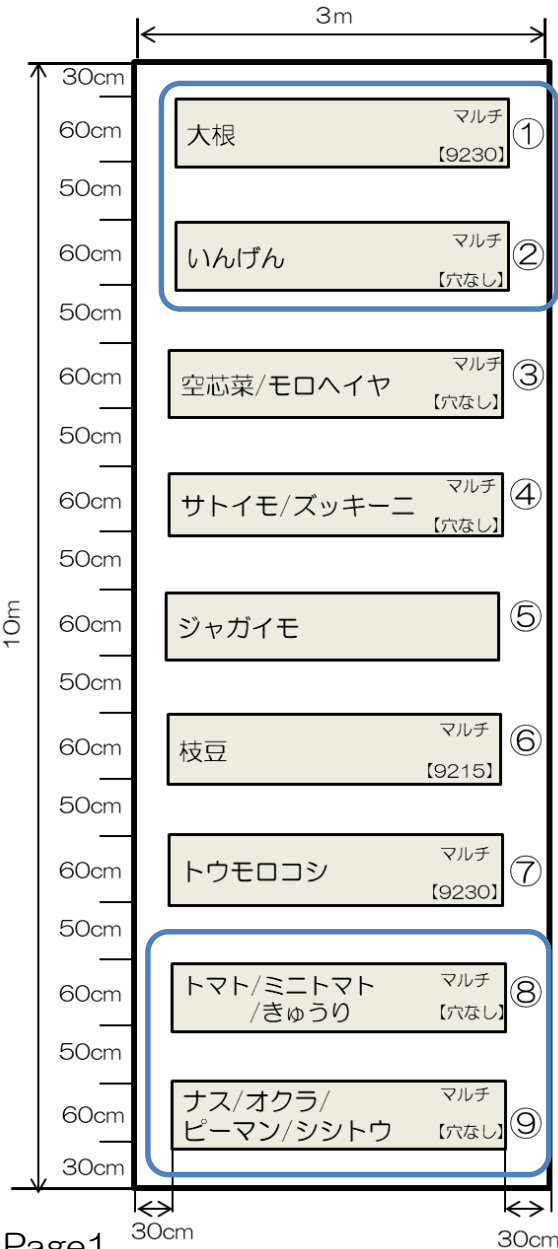
□空芯菜/モロヘイヤ マルチひき

□トマト/きゅうりの支柱立て

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

→ 北(農具庫側)

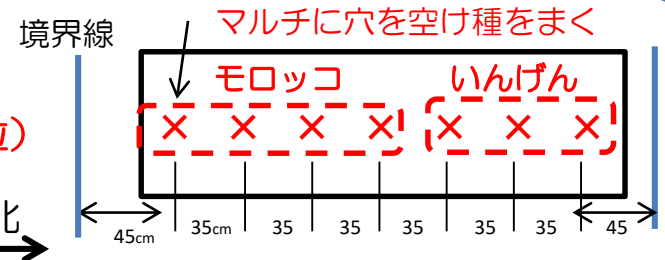
3m



□大根の間引き 4本→2本 北側 様子を見て実施

□いんげんの種まき(②列目) 境界線

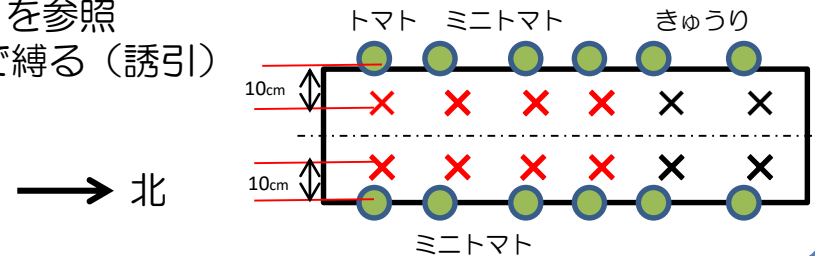
- ・マルチに穴をあける
 - ・種まき(7か所、1穴2粒)
- ※穴が小さすぎると、
熱で種が腐ります。



□トマト類の植付(⑧列目)

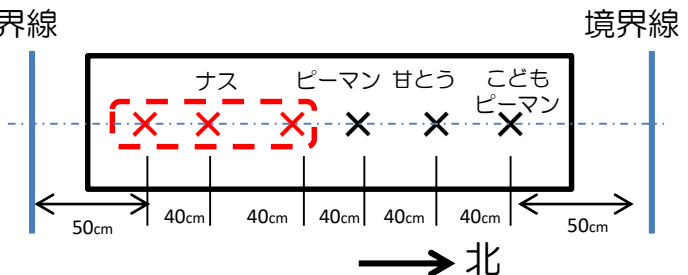
- ・植付け
- 場所はPage2を参照
- ・植付後紐(麻紐)で縛る(誘引)

支柱から10cm程度離れたところ
にマルチに穴を空け、植付けする



□ナス類の植付け(⑨列目)境界線

- ・マルチに穴を空ける
- ・各種苗を植付け
- Page2を参照
- ・植付後、鉄棒を立て、
紐(麻紐)で縛る

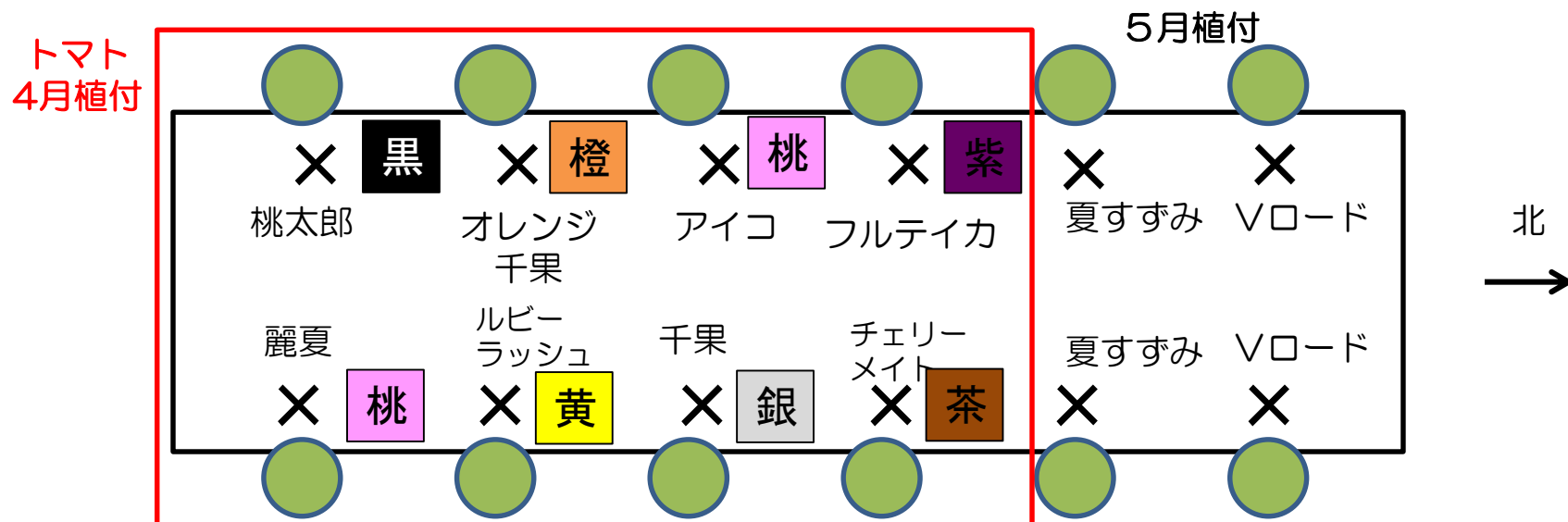


マルチに穴を空け、植付けする

※本来は50cm間隔ですが、植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

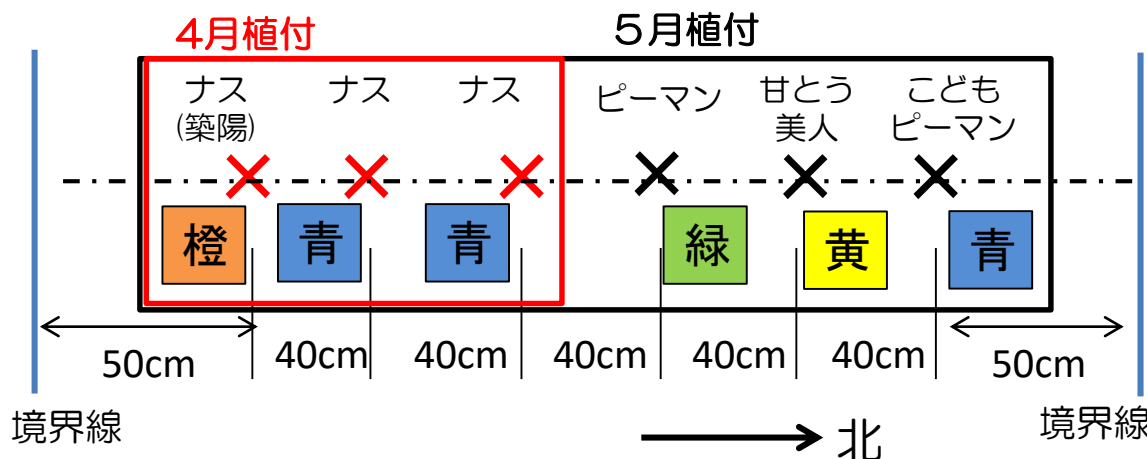
【トマトの植付場所(⑧列目)】

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。植え場所を間違えないでください

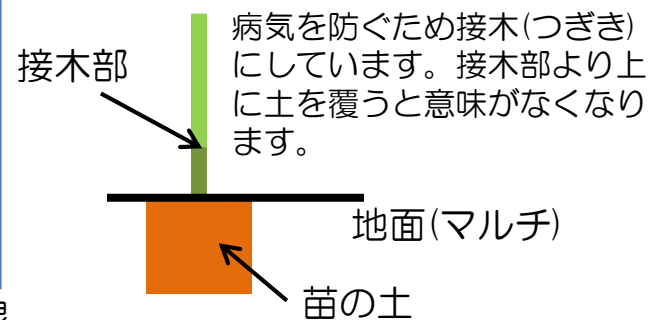


【ナスの植付場所(⑨列目)】

植え場所を間違えないでください

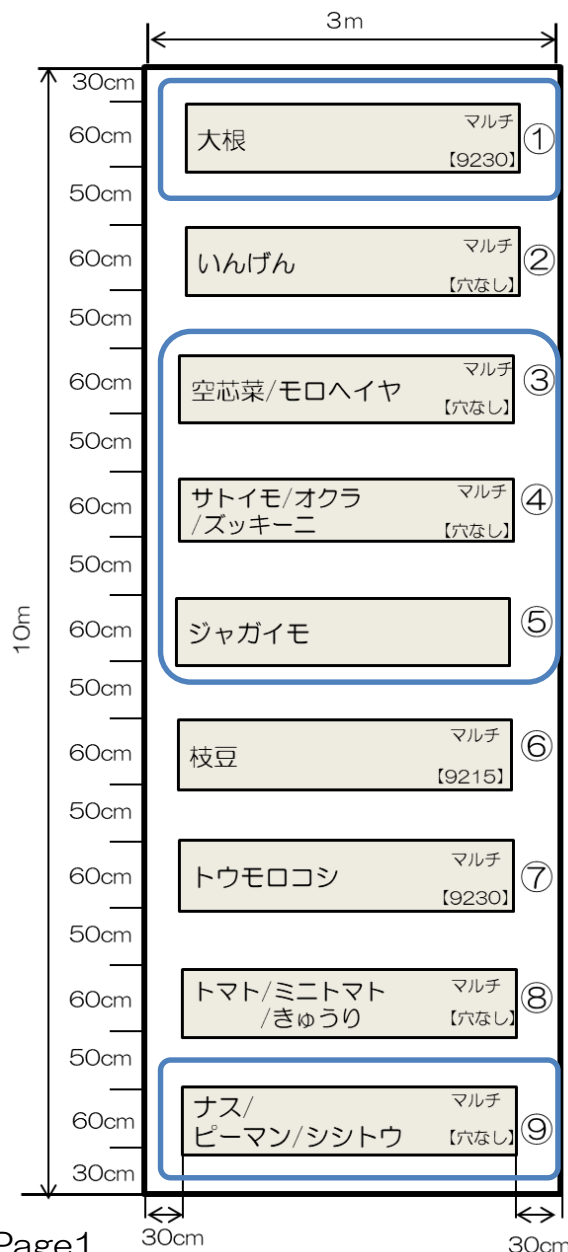


接ぎ木の苗は深く植えず、苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ高さになるようにしてください



→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



□全般

- ・除草、トマト誘引、補植(いんげん/枝豆/トウモロコシ等)

□大根(①列目)

- ・まびき→2本(大きいものは1本)

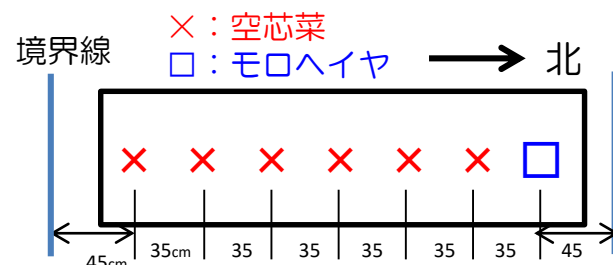
□空芯菜/モロヘイヤ

植え付け(③列目)

- ・マルチに穴を空ける
- ・空芯菜/モロヘイヤの苗を植え付ける

※空芯菜の苗は最大3個、残りは種をまいてください(各穴3粒)

※モロヘイヤを数を増やしたい方は、
空芯菜の植付数を減らしてください



□ジャガイモ(⑤列目)

- ・追肥(化成8号)、土寄せ

□京芋/里芋/オクラ/ズッキーニ(④列目)

詳細はPage2を参照

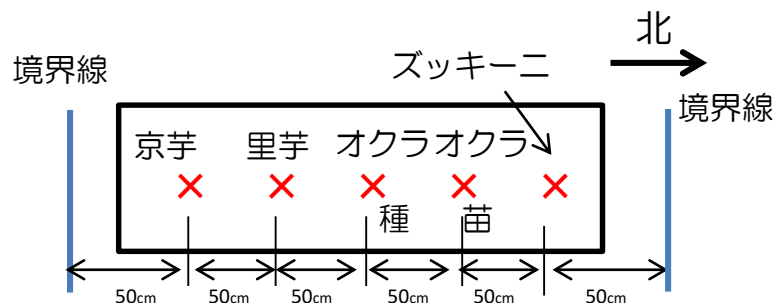
□ピーマン類の植付け(⑨列目)

- ・詳細はPage2を参照
- ・植付後、鉄棒を立て、紐(麻紐)で縛る

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

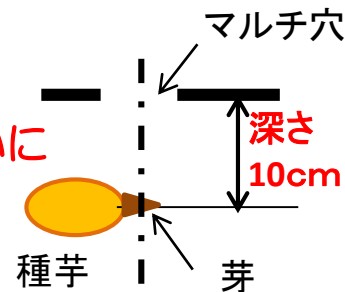
□京芋/里芋/オクラ/ズッキーニ(④列目)

- ・黒マルチに以下の寸法で穴を空ける



「京芋/里芋」

種芋を横向きにし、
芽がマルチ穴の中心に
くるように植える

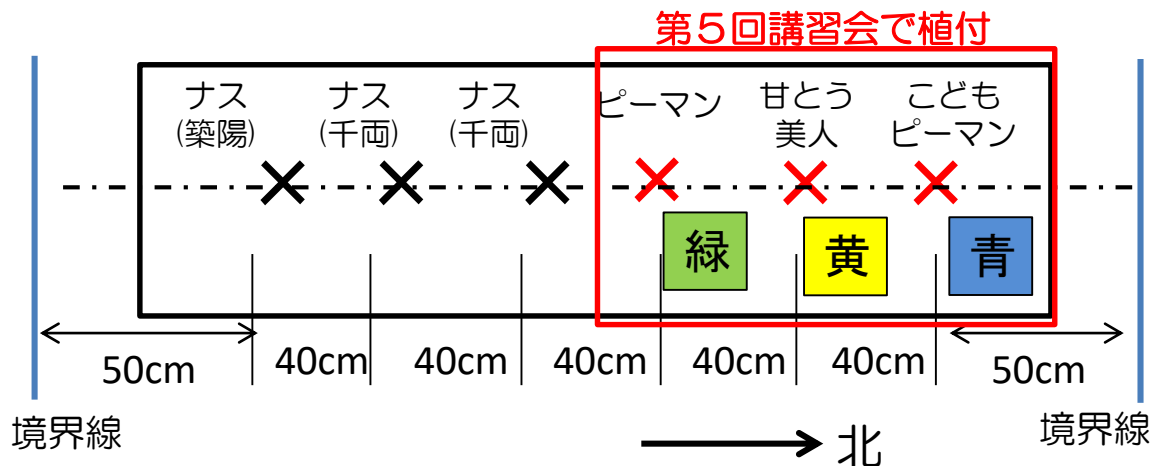


「オクラ/ズッキーニ」

- ・苗を植え、必要に応じ鉄棒に誘引する。

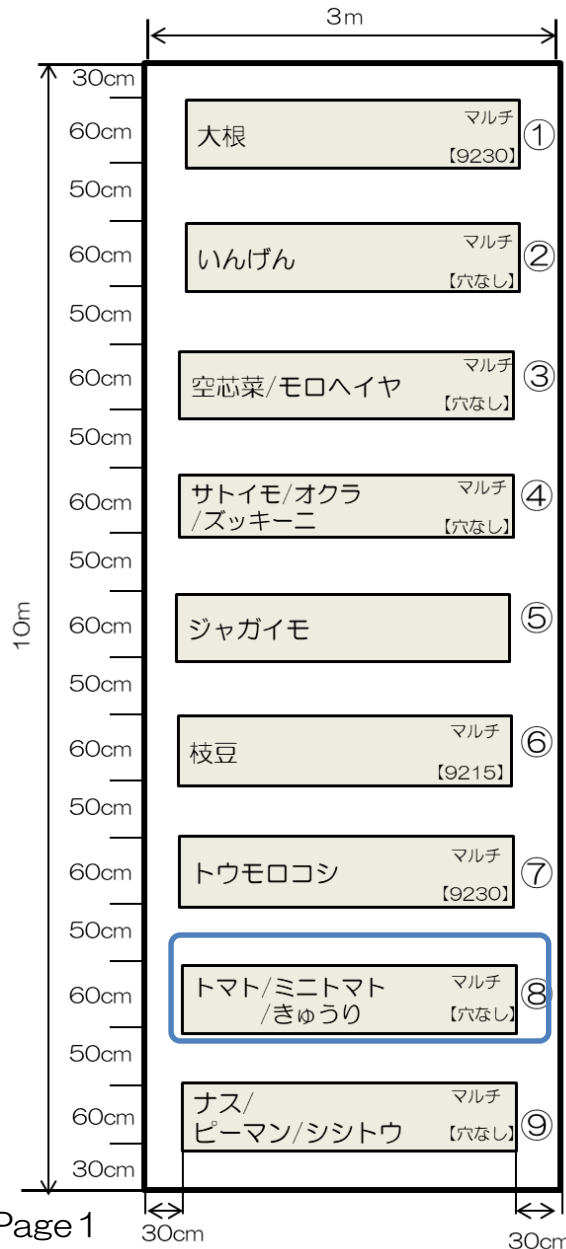
【ピーマン類の植付場所(⑨列目)】

植え場所を間違えないでください



北(農具庫側)

3m



□全般

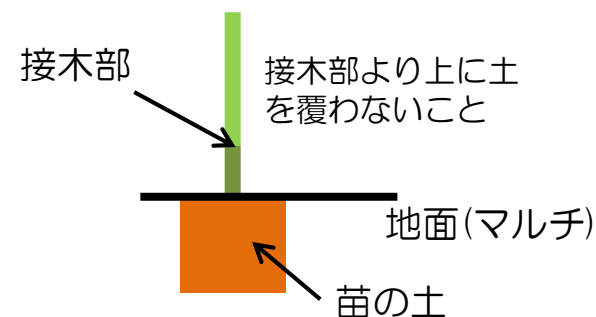
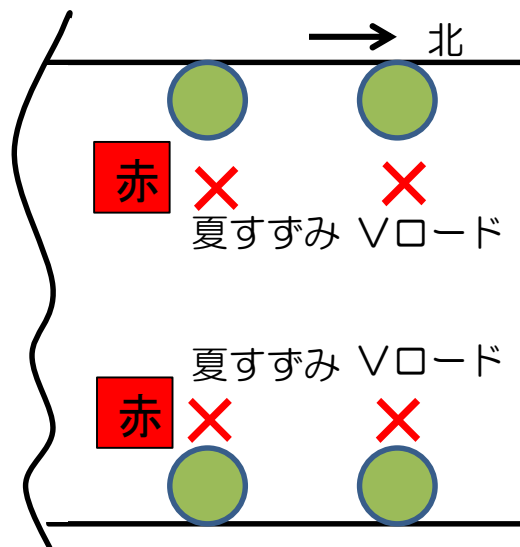
- ・除草、誘引、トマトのめかき
※トマトめかき→自信がない方は個別指導します
- ・大根間引き(大きいものは1本に)

□雹被害の修復

- ・枝豆、インゲン種まき
- ・各種捕植→当日の指示に従ってください

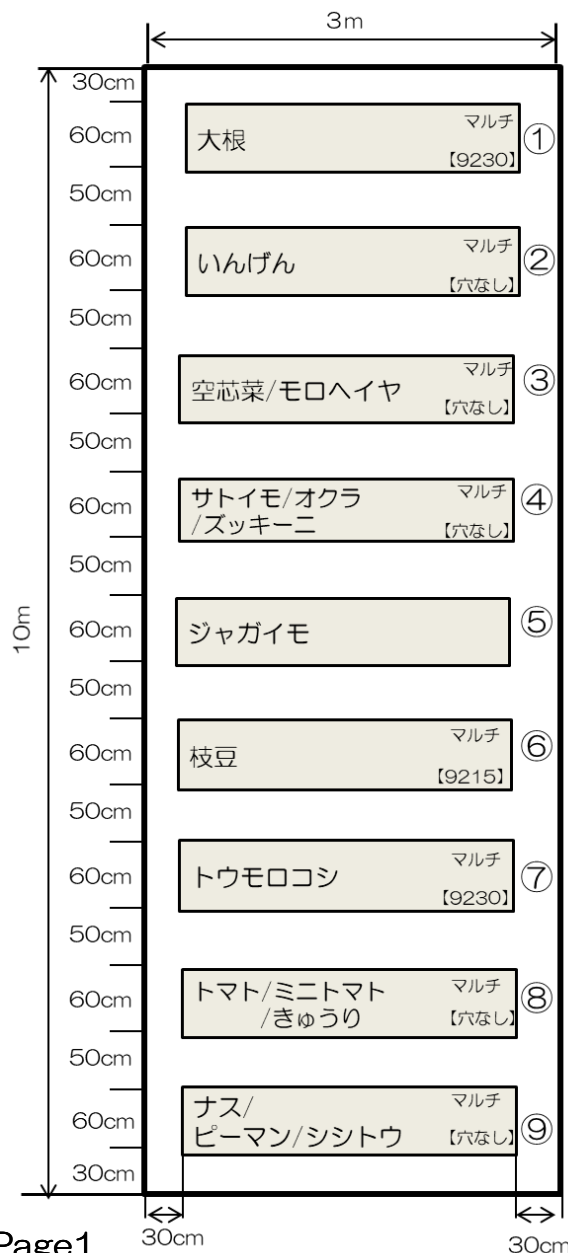
□きゅうりの植付け(⑧列目)

- ・苗は当日の指示に従ってください
- ・植付後紐(麻紐)で縛る(誘引)
→風で折れないよう、最初のうちは鉄棒に誘引してください



→ 北(農具庫側)

注：講習当日の指示に従って作業ください



□全般

- ・除草、誘引(トマト/きゅうり)、トマトのめかき
- ※トマトめかき→自信がない方はお声掛けください

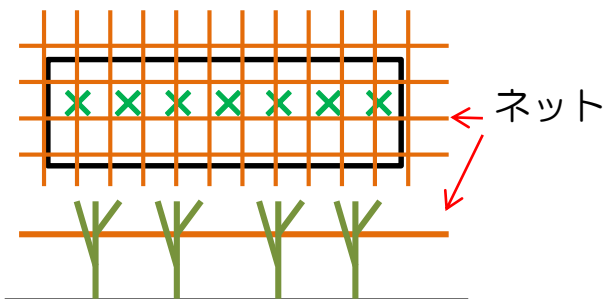
□各種捕植(えだまめ等)

- 大根まびき1本
- トウモロコシの補強→大きいものを鉄棒に誘引
- ナス列ネットはり

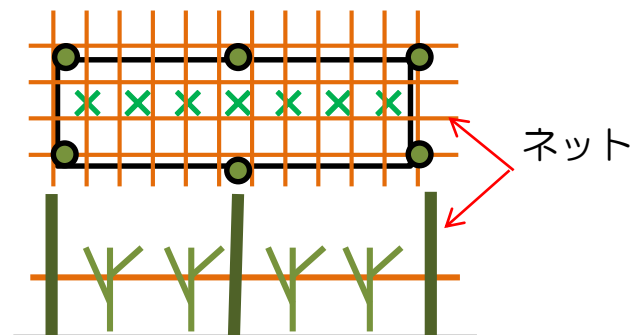
【ナス/ししとう/ピーマンネットはり】

①支柱(74cm/6本)とネットを用意する。

②ネットをナス/ししとう/ピーマンの上に軽く掛ける



③支柱を6本立て、ネットを張り、麻紐で縛り固定する



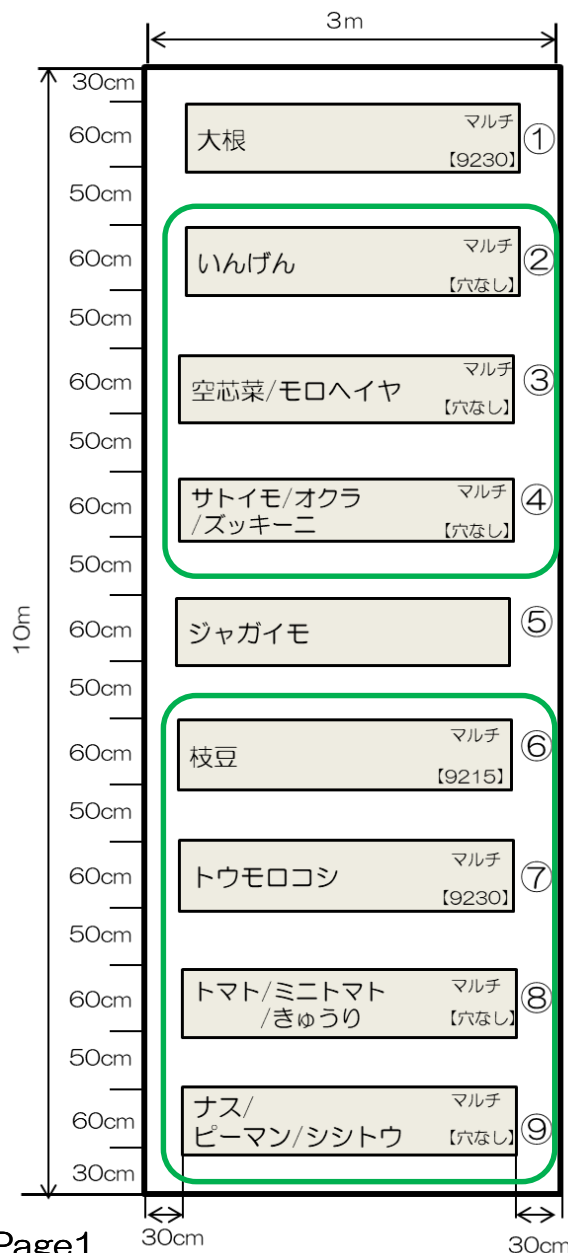
※保持していた鉄棒は外す(小さい苗は除く)

④成長に合わせてネット高さを調整する



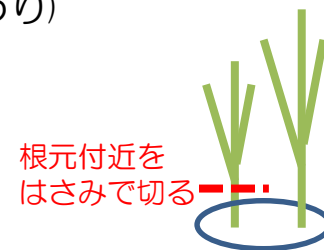
→ 北(農具庫側)

注：講習当日の指示に従って作業ください



□全般

- ・本講習から夏時間となります(来園時間 6:00~9:00)
- ・除草、トマトのめかき、誘引(トマト/きゅうり)
- ・大根/ズッキーニの収穫
- ・トウモロコシ間引き
2本のうち小さい1本をはさみで切る



□追肥 追肥用肥料 緑四角部

1つまみ/1株

- ・いんげん(②列目) ・空芯菜/モロヘイヤ(③列目)、
 - ・サトイモ、オクラ、ズッキーニ(④列目)
 - ・枝豆(⑥列目) ・トウモロコシ(⑦列目)
 - ・トマト/きゅうり(⑧列目) ・ナス/ししとう/ピーマン(⑨列目)
- 多すぎないように注意してください(肥料焼けします)。

【追肥のやりかた】



追肥用肥料を1株1つまみ撒きます
ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください



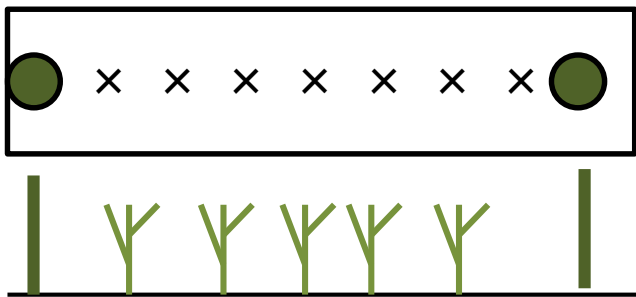
根元に1つまみ
ずつ追肥します

「1つまみ」はこれくらいです

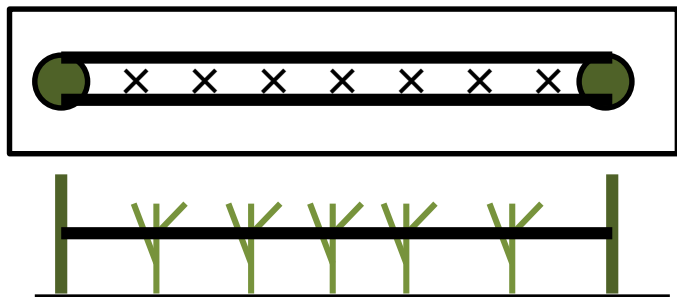
【いんげん支柱立て】

①支柱(74cm/2本)と黒ビニール紐を用意する

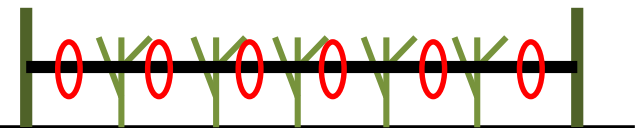
②マルチの両端に支柱を立てる(50cm位)



③一番小さい苗の高さに合わせ、
2本のビニール紐を両側から挟むよう
にして支柱に縛る



④苗と苗の間を麻紐で縛る



→ 北(農具庫側)

注：講習当日の指示に従って作業ください

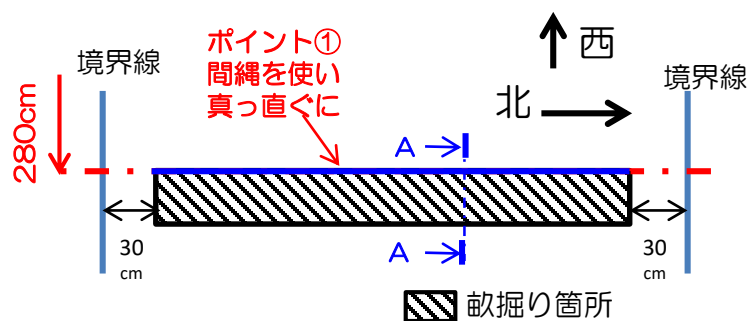
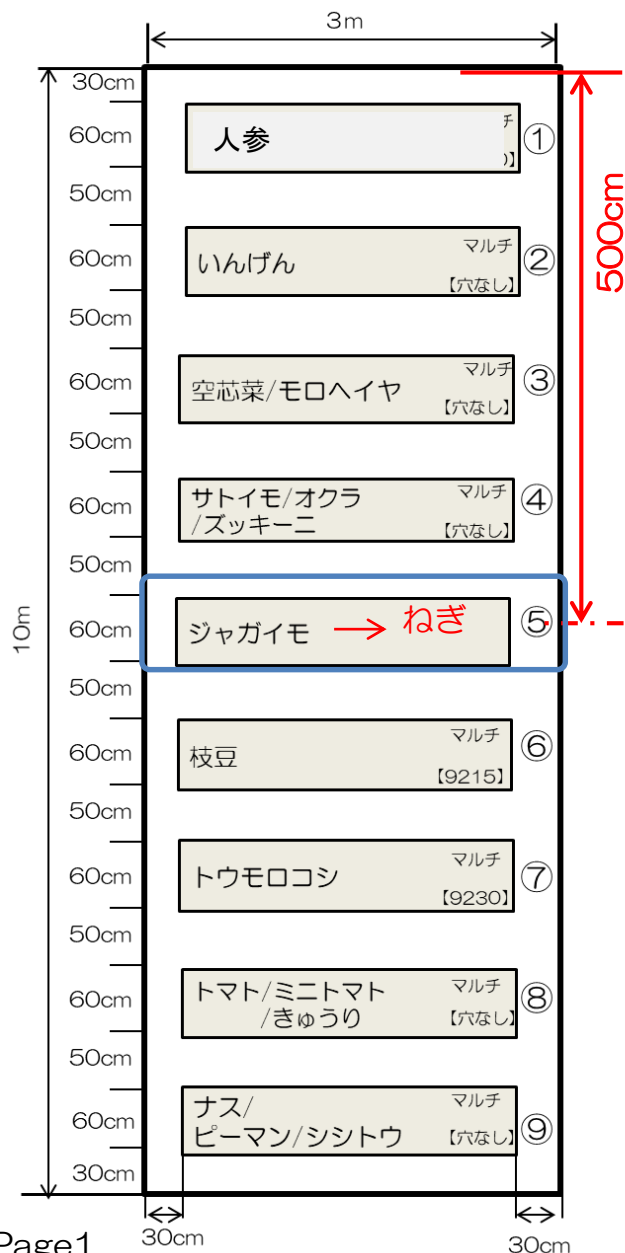
今回は春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いいたします。

□全般

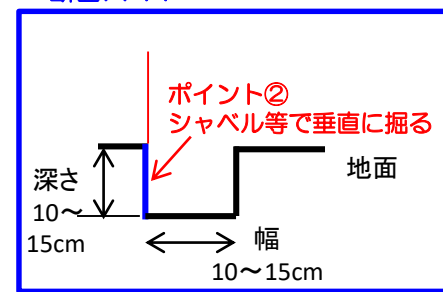
- ・収穫、管理作業

□ジャガイモ収穫 → ねぎ植付

- ・ジャガイモ収穫
 - ・石灰(カルメイト) → **2杯**
 - ・化成肥料(化成8号) → **1杯**
 - ・畝掘り → **基準面(青線部)**が曲がらないようにしてください
- 施肥後よく耕したのち
平坦にしてください

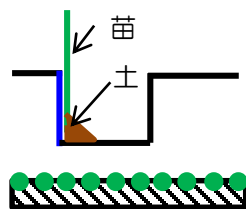


断面A-A



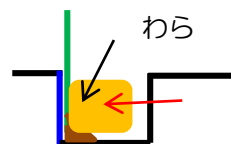
・苗植え

①ねぎの苗を基準面につけ
根元に土をかけて固定する



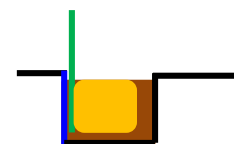
3~5cm間隔、畝全体に

②わらを畝に入れ、基準面
側に軽く押し付ける



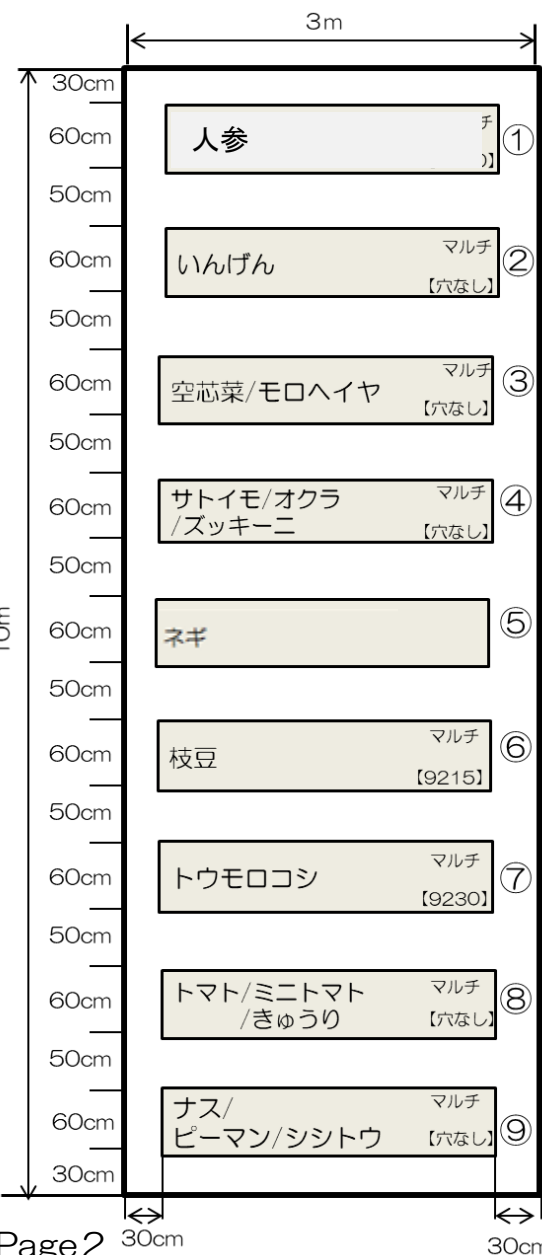
注意①
間隔狭いと細くなります！

③わらが埋まらない程度
の深さで土をかける



注意②
土をかけすぎると腐ります

「7月～8月の作業予定」



列番	6月下旬の状態	7月～8月の作業	8月末時点の状態
①	収穫完了	状況に応じ、種まきを行って下さい。	そのまま (人参生育中)
②	植付済	適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)
③	収穫可	適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。	そのまま (10月まで可)
④	植付済	サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは随時収穫ください。	そのまま (生育中)
⑤	植付済	特にありません	そのまま (生育中)
⑥	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)
⑦	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月～8月上旬)
⑧	収穫可	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
⑨	収穫可	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)

注1. 収穫時期、消毒情報は、HPを確認ください
 注2. 除草などの管理は適宜行ってください

【お知らせ】

●管理・収穫期(7月～8月)の作業の注意事項

基本的には、皆様のご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

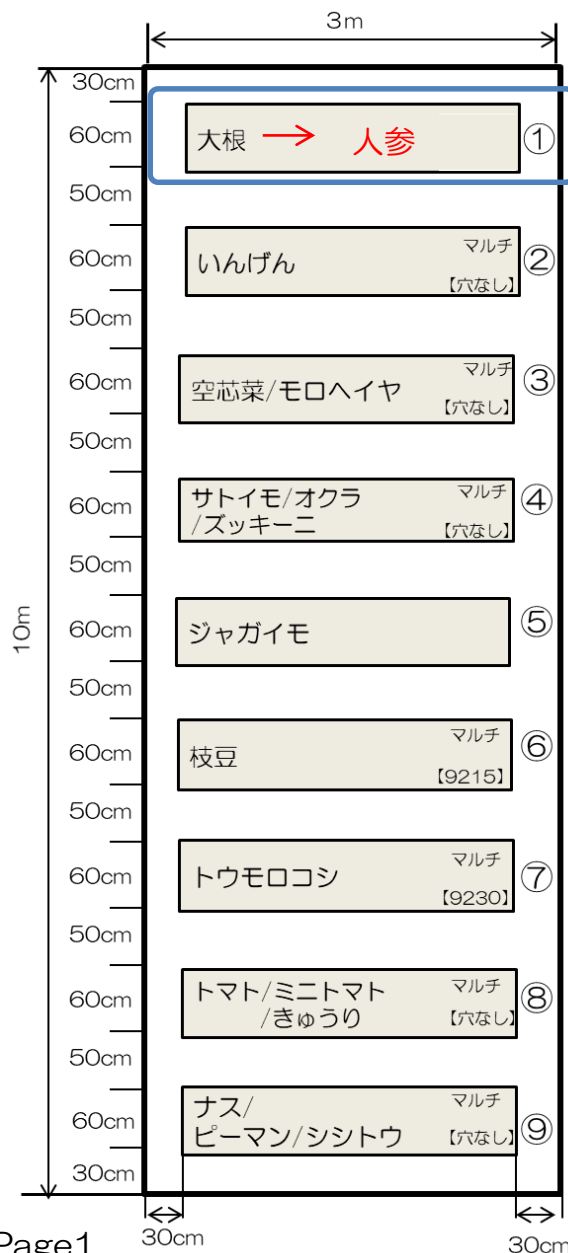
- ①講習会中断期間の連絡は「ホームページ」および「希望者へのメール連絡」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。遠方の方で、ホームページを見れない方は、事前にお電話していただくことをお勧めします。
- ②なるべく週一度は除草/収穫に来るようにしてください。特にトマト/きゅうり/ナスについては、**間をあげすぎると収穫タイミング(食べ頃)を逃してしまうことがあります。**なお、枝豆、トウモロコシ等は収穫情報については、こちらからは「**ホームページ**」と「**希望者へのメール**」以外では発信しませんので、ご注意願います。
- ③夏場は午前中の早い時間、もしくは夕方に来られることを強くお勧めします。水分補給を忘れず、**健康に留意して**作業を行ってください。
- ④大体の日は畑に出ておりますので、作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。ただし、**夏場の日中(11:00～15:00)は、昼休憩等のためほとんど対応できません**ので、ご注意ください。
- ⑤自転車は**必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
- ⑥除草した草、大根の枯葉、トウモロコシの茎、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。また、**支柱に使用した鉄棒等は必ず元の場所に返してください。**

●秋の講習会日程について

秋の講習会日程については、決定次第ホームページ上に掲載します

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

→ 北(農具庫側)

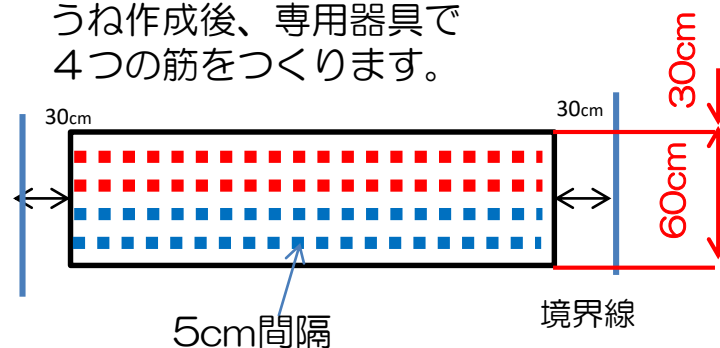


【人参種まき】

□人参(五寸人参/向陽二号)

- ・大根のマルチをはがし、よく耕す
- ・石灰(カルメイト)→1杯
- ・化成肥料(化成8号) →1杯
- ・アズミン→1杯
- ・ネマトリン→約40g(計量カップ1杯)
- ・うね作り

下図のようなうねを作ります
うね作成後、専用器具で
4つの筋をつくります。



器具を地面に押し付け
4本の筋を作ります

- ・種まき 各2列
五寸人参(赤点部) 5cm間隔/一つまみをすじまき
向陽二号(青点部) 5cm間隔/一つぶん
種まき後、わら3つをばらして表面に敷く

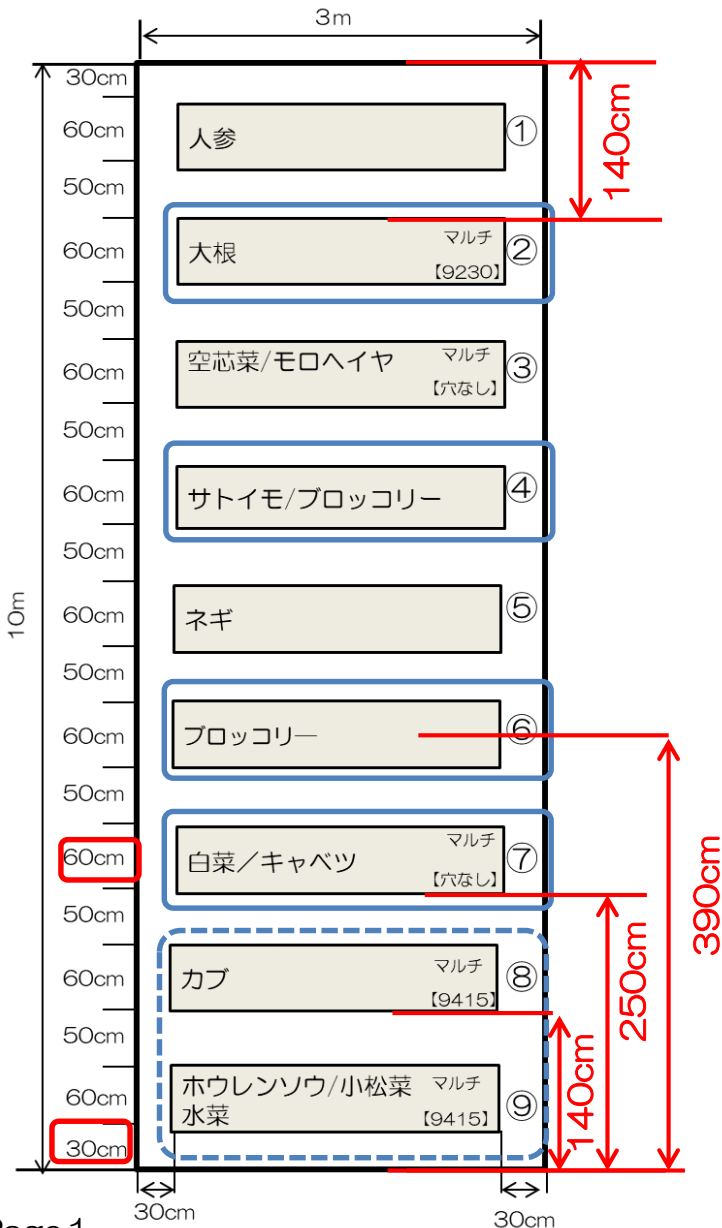
※種は最低限しか用意しておりません。

他の区画の分も考慮し、撒きすぎないように注意してください。

※人参は水分が足りないと発芽/成育しません、

来園時には忘れず水を撒いてください。

→ 北(農具庫側)



□全般

- ・除草、各種収穫、管理作業(ネギの土寄せなど)

□大根の準備(②列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯
- ・施肥後よく耕す
- ・**マルチ9230**をひく

□サトイモの土寄せ(④列目)

- ・マルチをはがし、サトイモ/京芋に土寄せをする
- ※オクラ/ズッキーニのあとにブロッコリーを植えます
- 収穫終わっている方は野菜名人1/2杯、石灰1/2杯をまき軽く耕してください

□ブロッコリーの準備(⑥列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯(うねの中心に)
- ・施肥後よく耕す **マルチはひきません**

□白菜/キャベツの準備(⑦列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯
- ・施肥後よく耕す
- ・**穴無しマルチ**をひく(幅は60cm確保してください)

□その他

列⑧トマト類は頭、列⑨ナス類は9月下旬を目安に撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。
トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします
余裕ある方は、野菜名人1杯、石灰1杯 を撒き、マルチ9415をひいてください

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

お願い

ブロッコリー、白菜、キャベツの苗のポットは
泥を洗って落としたのち、回収場所へ戻してください

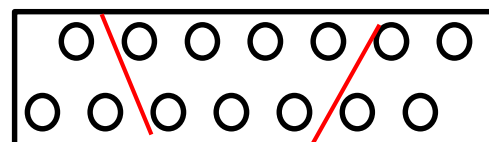
□全般

- ・除草、各種収穫、人参の間引き(随時)

□大根の種まき(②列目)

- ・種まき(1穴4粒)

※目安：聖護院3~4、青首6~8、三浦3~4



聖護院

青首

三浦

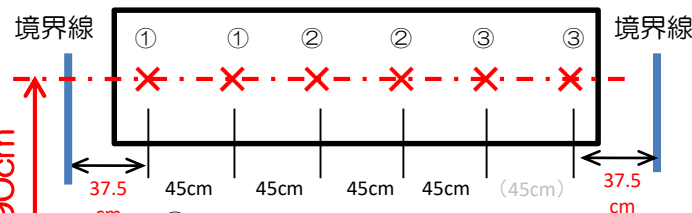
→ 北

※本図は配分の目安です。
穴の数はマルチの引き方
で異なります

大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで
変えていただいて構いません。

□ブロッコリーの植付(⑥列目)

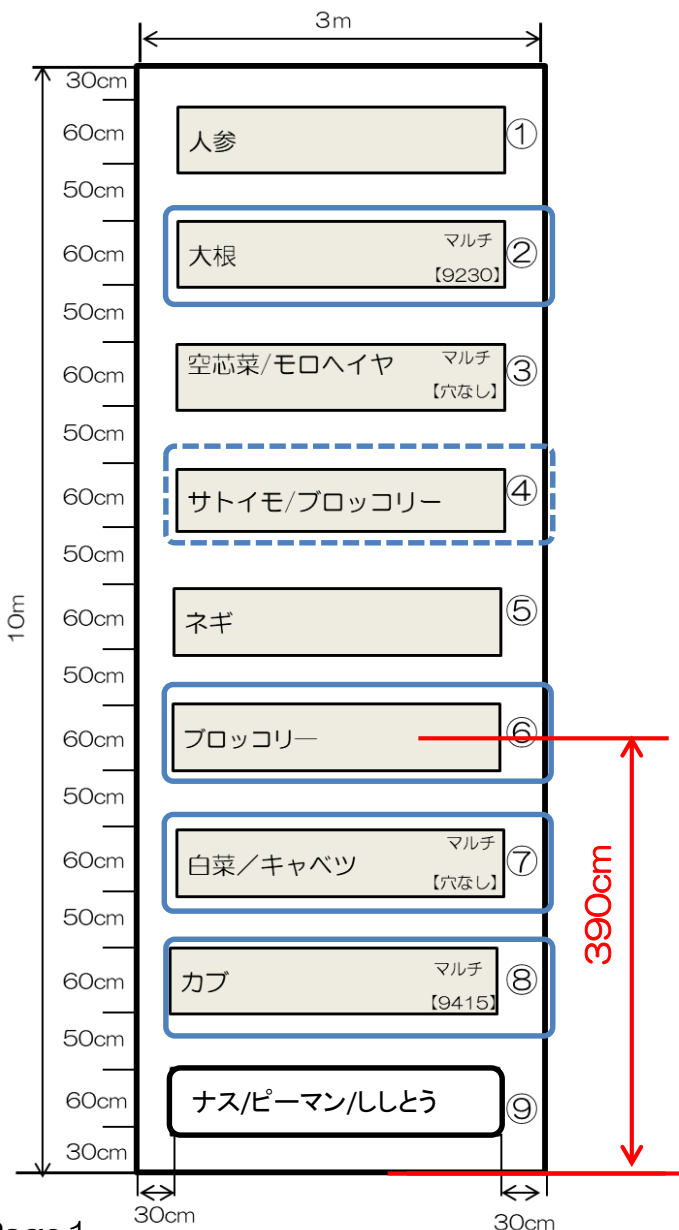
- ・ブロッコリーの苗(3種類)を植える。
植え付け後、鉄棒に誘引する。



390cm

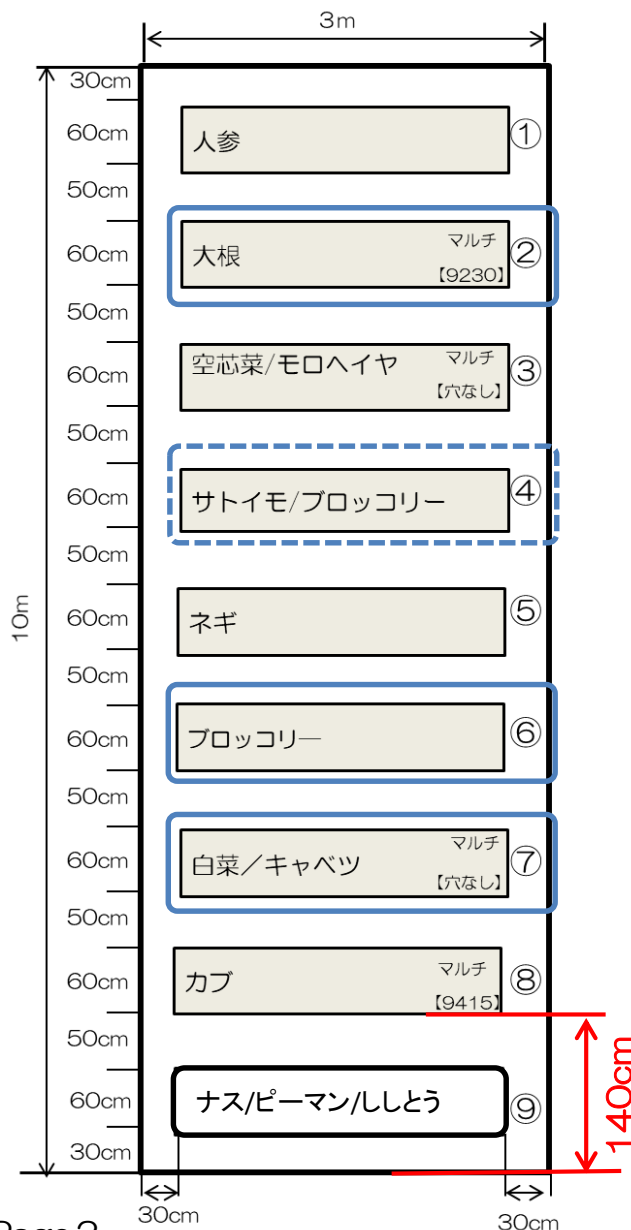
→ 北

- ①スティックセニョール × 2
- ②ピクセル × 2
- ③緑嶺(りょくれい) × 2



→ 北(農具庫側)

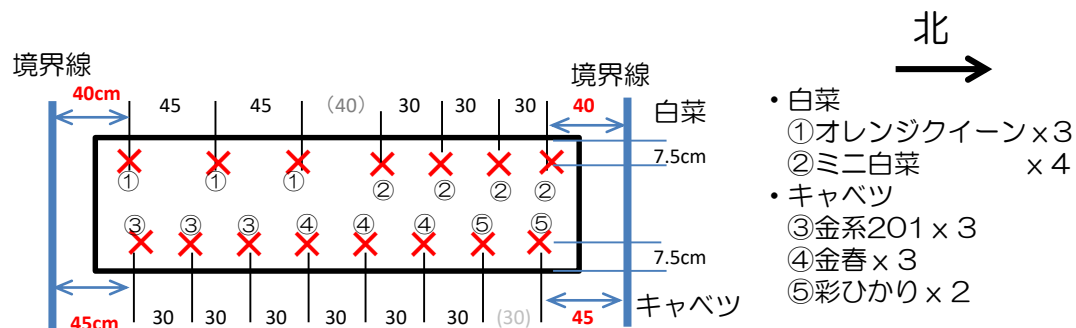
注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



□白菜/キャベツの植付(⑤列目)

- ・黒マルチに穴をあけ、白菜(2種類)、キャベツ(3種類)の苗を植える

※ポットに2本あるものは、そのまま植えてください
植え付け後、水をしっかり撒いてください



- ・白菜
 - ①オレンジクイーン×3
 - ②ミニ白菜 ×4
- ・キャベツ
 - ③金系201×3
 - ④金春×3
 - ⑤彩ひかり×2

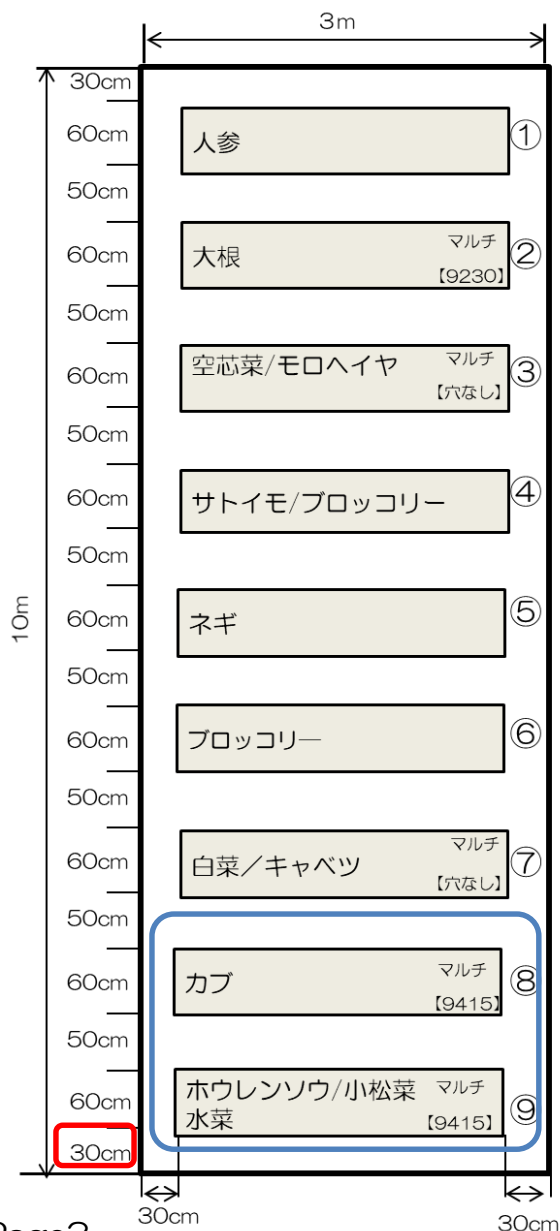
□カブの準備(⑧列目)

- ・野菜名人1杯、石灰1杯、施肥後よく各自で耕す
- ・マルチ9415をひく

□ブロッコリー植え付け(④列目、サービス対応)

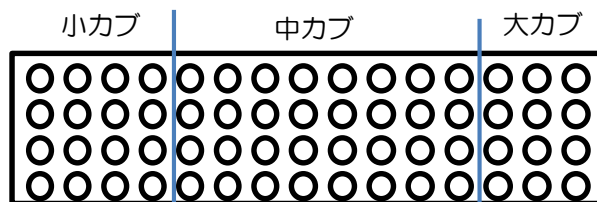
- ズッキーニの跡に1個、オクラが終わった方は更に1個、「スティックセニョール」を植えてください
- ※各区画、植え付け最大数は2個とします
- ※オクラは無理に撤収しなくて結構です

→ 北(農具庫側)



以下の作業資料は準備でき次第ハウス内に準備します
準備ができましたら、HP、一斉メールにて連絡しますので、
ご都合のよい日程で作業を行ってください

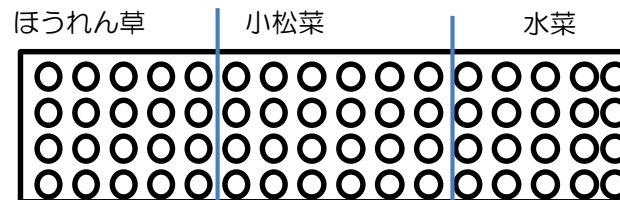
□カブの種まき(⑧列目) 9月末までに行ってください
・種まき、各穴4粒程度 大カブ3列、小カブ3列、残り中カブ



成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

※穴数はマルチの引き方で異なります → 北

□葉物の種まき(⑨列目) 10月上旬までに行ってください
・ナス類の撤収&片づけ→ネットは各自BOXへ戻してください
・施肥(野菜名人/石灰 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
・マルチ9415をひく
・たねまき、各穴4粒程度
ホウレンソウ/小松菜/水菜 各5列程度



割合は各区画で任意に決めてください

→ 北

※穴数はマルチの引き方で異なります

【諸連絡】

●収穫期(9月～1月)の作業の注意事項

夏期と同様、ご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

- ①収穫期の諸連絡は「**ホームページ**」および「**希望者へのメール連絡**」にて行います。
収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。
- ②作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。
ただし、平日午前(月、火、木、金)は出荷準備で対応できない場合がある
- ③自転車は**短時間であっても、必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
- ④除草した草、枯葉、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。
- ⑤白菜、キャベツ等は、害虫の発生具合をみて、消毒を行う場合があります。
消毒後一定期間は収穫ができません。また、消毒情報は「ホームページ」、
「メール連絡」でのみ行っています。

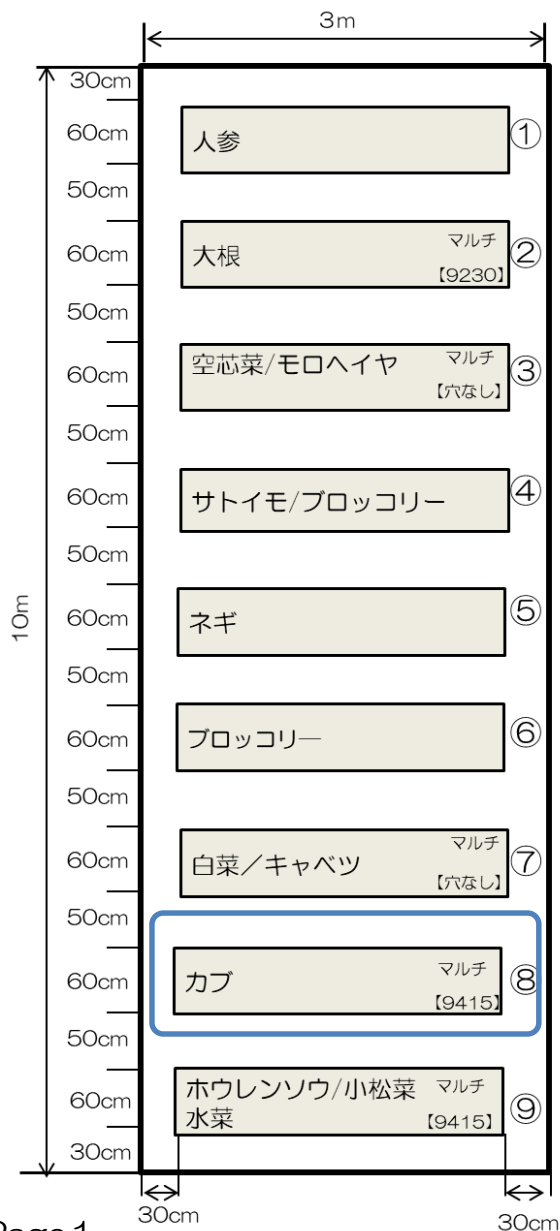
●収穫完了時期について

- ・農園の契約満了日は**2020年1月31日**となっております。継続/非継続に限らず
2020年1月中旬を目標に、収穫完了するようにしてください。
- ・収穫完了後は、マルチを全てはがし、茎などのごみを撤去し、**何もない状態に戻して**
いただけますようお願いします。

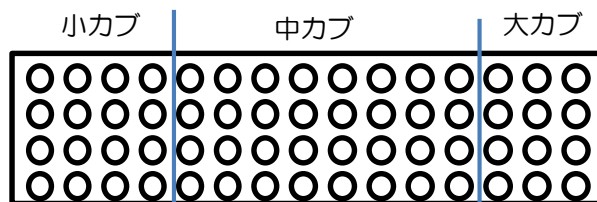
●次年度継続希望調査について

- ・講習会場(ビニールハウス内)で11/2～配布/回収します。**12/1まで**に提出ください。
- ・**書面のみ受付です**(メール/口頭不可) **提出がない場合は辞退者**とみなします

→ 北(農具庫側)



□カブの種まき(⑧列目) 9月末までに行ってください
 ・種まき、各穴4粒程度 大カブ3列、小カブ3列、残り中カブ

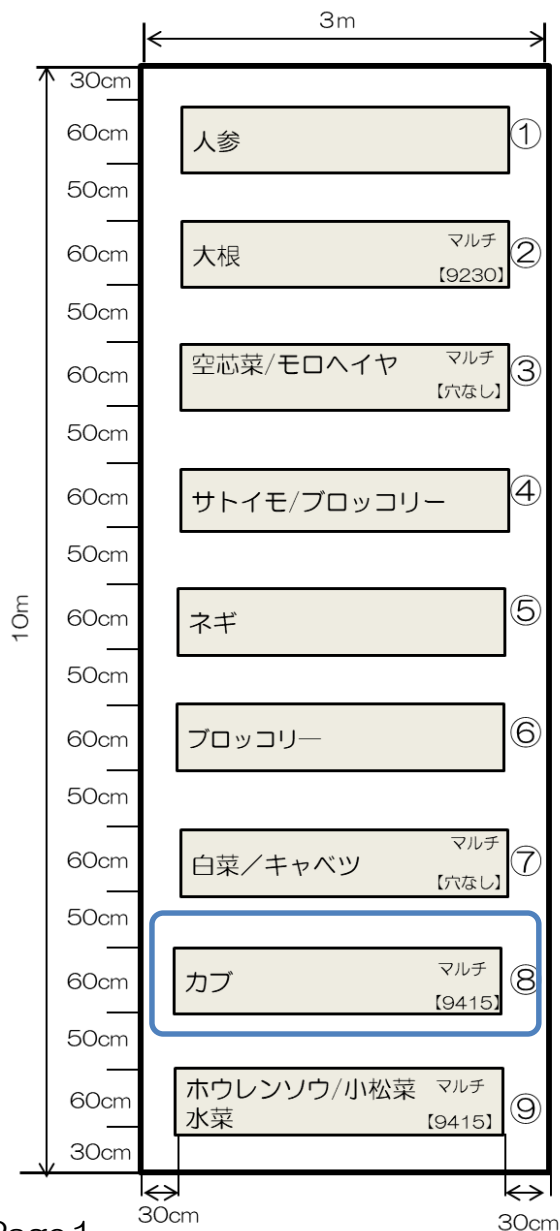


成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

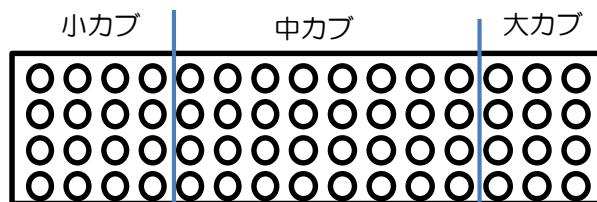
※穴数はマルチの引き方で異なります

→ 北

→ 北(農具庫側)



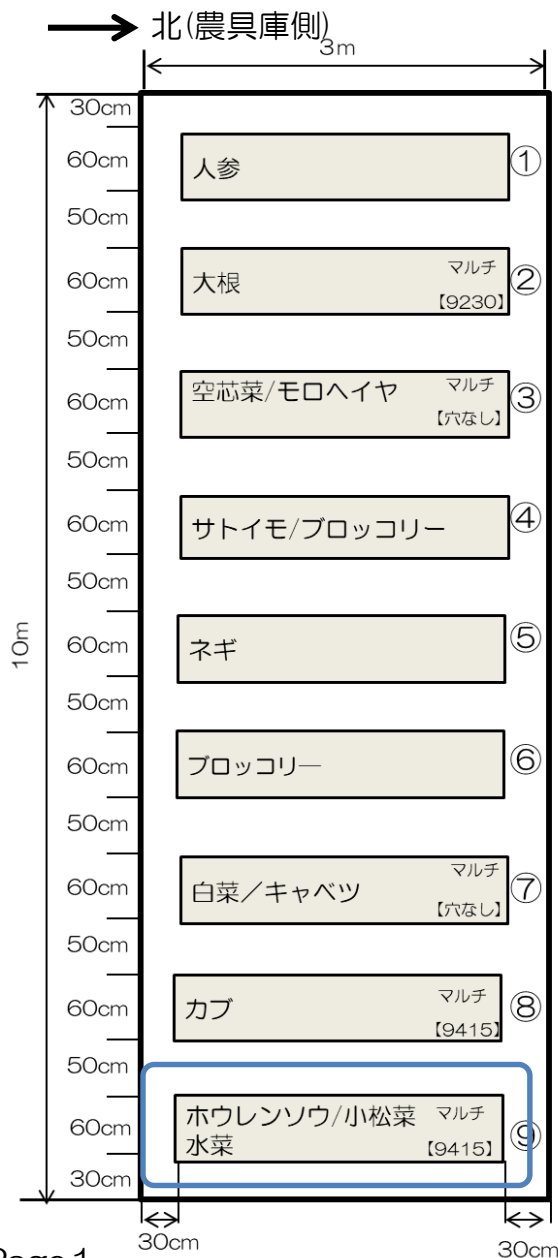
□カブの種まき(⑧列目) 9月末までに行ってください
・種まき、各穴4粒程度 大カブ3列、小カブ3列、残り中カブ



成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

※穴数はマルチの引き方で異なります

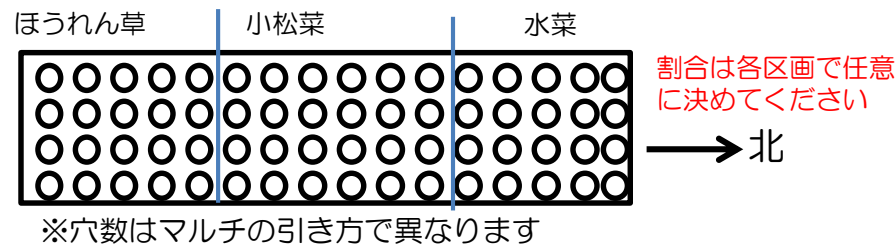
→ 北



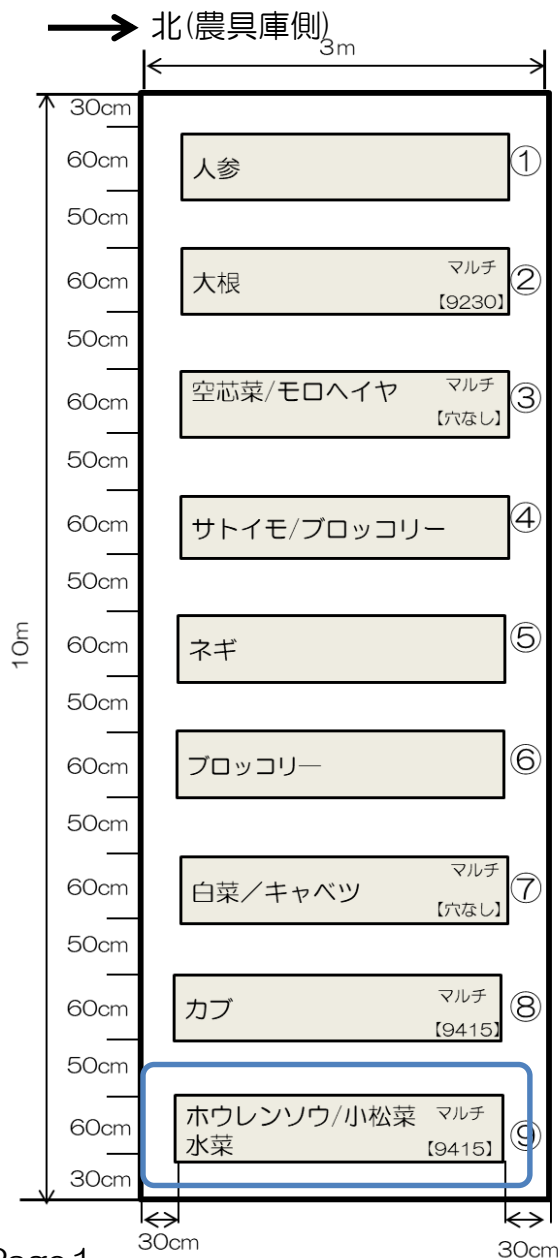
□ホウレンソウ/小松菜/水菜の種まき(⑨列目)

- ・ナス列の撤収
- ・施肥(野菜名人1杯、石灰1杯)
耕うんは各自行ってください。
- ・マルチ9415をひく
※中央が沈むと種が水没します。慎重にひいてください。

- ・種まき(1穴4~5粒程度)
1穴4粒程度、割合は各6~8列を目安、割合は各区画で決めてください。
※種を混ぜないように注意ください。



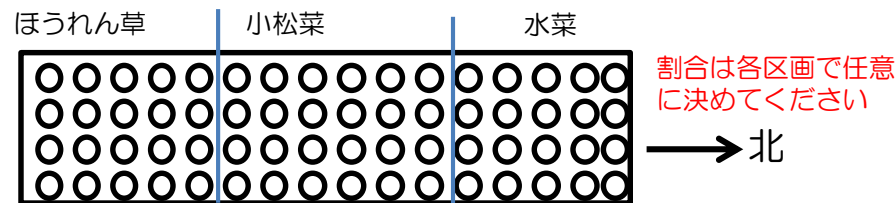
※小松菜/水菜等、成長が早いものは、期間内で2回収穫可能な場合があります。その都度指示します。



□ホウレンソウ/小松菜/水菜の種まき(⑨列目)

- ・ナス列の撤収
- ・施肥（野菜名人1杯、石灰1杯）
耕うんは各自行ってください。
- ・マルチ9415をひく
※中央が沈むと種が水没します。慎重にひいてください。

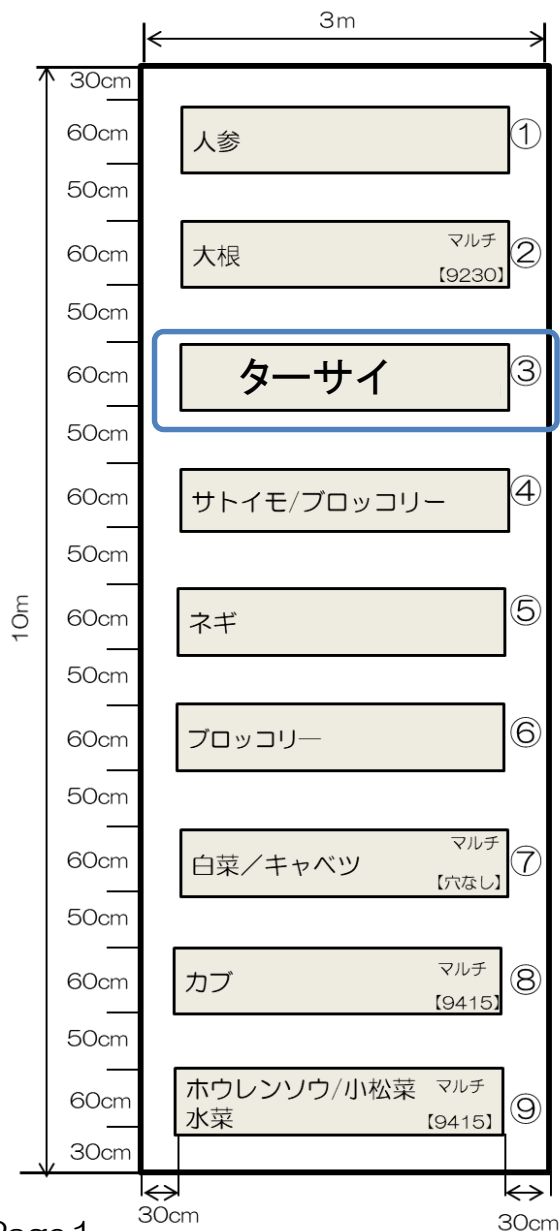
- 種まき(1穴4～5粒程度)
1穴4粒程度、割合は各6～8列を目安、割合は各区画で決めてください。
※種を混ぜないように注意ください。



※穴数はマルチの引き方で異なります

※小松菜/水菜等、成長が早いものは、期間内で2回収穫可能な場合があります。その都度指示します。

→ 北(農具庫側)



本作業は希望者向けの内容となります。

□ターサイ植付(③列目)

- 空芯菜/モロヘイヤを片付ける
- 施肥(野菜名人1杯、石灰1杯)、しっかりと耕す
- 苗12個を×部に植える

